

平成26年度  
八千代市国際交流協会総会  
資 料

と き

平成26年 4月 13日（日）午後2時から

と ころ

八千代市役所2階会議室

## 平成26年度総会次第

### 1. 開会

### 2. 会長あいさつ

### 3. 来賓あいさつ

### 4. 議長選出

議事録署名人選出

### 5. 議題

(1) 議案第1号 平成25年度事業報告(案)について

(2) 議案第2号 平成25年度収支決算(案)について

(3) 議案第3号 平成26年度事業計画(案)について

(4) 議案第4号 平成26年度事業収支予算(案)について

(5) 議案第5号 役員改選(案)について

(6) その他

① 会員の入退会について

② その他

### 6. 閉会

議案第1号 平成25年度事業報告について（案）

平成25年度八千代市国際交流協会の事業概要を次のとおり報告する。

平成26年3月31日

八千代市国際交流協会  
会長 周郷紀男

平成25年度八千代市国際交流協会事業報告

1. 第8回インターナショナルデイ「八千代で世界と出会おう」

日時：平成25年9月8日（日）

場所：フルルガーデン八千代 噴水広場

ステージ出演者

： 八千代フェスティバルバンド、  
八千代高校和太鼓部・鼓組、  
東京成徳大学ダンスサークル・軽音サークル

展示内容：多文化交流センターの案内、日本語指導教室の紹介、  
国際姉妹都市タイラー市との交流紹介、東京成徳大学の紹介

茶菓の提供：株式会社東あられ本舗さんより茶菓の提供がありました

来場者：1200名

内容：

このイベントは、市内に在住する外国人登録者に楽しく、有意義に交流する場を提供し外国人を含めた地域のネットワークづくりの一助となることを目的に毎年秋に実施しているものです。今年で第8回のイベント開催となりました。秋葉市長の挨拶から始まったイベントは市内の吹奏楽団、八千代フェスティバルバンド43名による演奏へと続きました。次は八千代高校和太鼓部“鼓組”42名の高校生による迫力ある和太鼓の演奏が披露され、関東大会4連覇の実力をいかんなく発揮しました。東京成徳大学のダンスサークルと軽音サークルは若者好みの演奏となりました。今年市内で文化活動をしている3グループが出演し八千代の文化活動を披露する良い機会になりました。また多くの観客が舞台での演奏を楽しみました。

会場周辺の国際交流協会のブースではこれまでの活動を写真、パンフレット等で紹介しました。昨年に引き続き東あられ本舗さんがお茶と菓子を無料で提供下さり来場者に変え喜ばれました。鼓組の皆さんには積極的に会場設営の手伝いをしていただき大きな助けになりました。雨が心配されましたが、幸いイベント中に降ること

もなく多くの皆さんに楽しんで頂けたイベントは無事終わりました。

## 2. 広報事業

### (1) 八千代市国際交流協会機関誌、クリッピー第9号の発行

発行日 : 平成25年12月15日

規格 : A4版8ページ

配布先 : 協会個人会員・団体会員、市内小学校・中学校・高校・大学、市内の公共機関と施設、近隣市の国際交流機関、その他

内容 :

この機関誌は、国際交流協会の事業を広く市民をはじめ多くの人々に知ってもらう事を目的に発行しています。協会は設立以来8年が経過し、各部会の活動が活発になるにつれて機関誌の内容が充実してきています。本年号は11月に開催した日本語スピーチ大会を特集しました。記事では外国人参加者13名を紹介し、優勝したベトナムのウットさんの「ありがとう日本」と題するスピーチ文を掲載しました。

その他、姉妹都市米国タイラー市からのアパッチ・ベルズとバンドの公演、ハロウィン祭り、日本語指導ボランティア研修会、インターナショナルデイ、夏休みこども日本語教室 in 八千代、語学研修旅行、語学研修会、国際姉妹都市交流20周年記念誌の発行に関する記事を掲載しました。例年通り25年度予算の開示と、新たに赴任した外国語指導助手(ALT)の紹介を行いました。

### (2) インターネットで八千代市国際交流協会のホームページ運営

ホームページが充実してきた。記事を随時更新しているので、ホームページを見て、入会を申し込んで来る人や質問してくる人が増えた。ホームページ訪問件数が増えているので、新しい会員が、ホームページを見て入会や問い合わせをしてくるようになりました。状況に応じて、スピーディに発信できるようになって、会員に協会からの広報が広く早く伝えられるようになりました。さらに内容を充実させていく予定です。また、八千代市役所と、東京成徳大学から、リンクの申し入れがあり、現在双方共にリンクしています。

ホームページを見る方法

1. ホームページアドレス : [YIA-kokusai2006.com](http://YIA-kokusai2006.com)
2. 「八千代市国際交流協会」で、検索しても出てきます。
3. 八千代市役所のホームページを開き、メニューの中から、「八千代市について」を選択し、「国際交流、平和、多文化共生」のカテゴリを選択すると、ホームページにリンクしています。

### 3. 国際姉妹都市部会事業

- (1) 国際姉妹都市交流20周年記念誌（バラでつなぐ20年）の発行。  
7月初め、500部完成、費用278,250円（予算）+31,500円（寄付）  
合計309,750円。  
8月末までに455部を国際交流協会会員全員、学校関係、市長/市議員、  
市役所の主な職員、タイラー市関係者、他市の国際交流協会、市内の主  
な施設等に配付した。
- (2) 国際姉妹都市部会とALTとの交流会。（バーベキューパーティ）  
日時：11月17日（日）11:00～14:00時  
場所：やちよ農業交流センター  
会費：一人1,500円  
参加者：ALTより4名、会員21名（内高校生2名） 合計24名参加
- (3) 市内の高校生を姉妹都市タイラー市に派遣する件は引き続き検討した。
- (4) 他市の国際交流協会姉妹都市部会との交流を引き続き検討した。
- (5) タイラー市訪問団が平成26年7月11日より4泊5日の予定で八千代市訪問が決定した。  
国際姉妹都市部会として、受入実行委員会の立ち上げを12月1日午後2時からの総会で承認。同時に国際交流協会全員に実行委員会参加を呼びかけ、同日午後3時より第1回実行委員会を開催。参加者27名、電話参加申込者は6名合計33名であった。  
タイラー市の訪問団に対し温かい「おもてなし」をコンセプトに準備を開始することにした。

タイラー市訪問団のスケジュールは下記の通り。

7月11日（金） 八千代市到着  
7月12日（土） 八千代市滞在  
7月13日（日） 八千代市滞在  
7月14日（月） 八千代市滞在  
7月15日（火） 午前成田空港より帰国

尚、八千代市滞在中の具体的な対応・催し物は現在検討中。

- (6) 国際姉妹都市部会 総会は下記の通り開催した。  
平成25年4月11日（木）  
平成25年12月1日（日）

(7) 国際交流協会理事会に下記の通り出席した。(活動実績と事業予定を報告)

第1回 平成25年6月13日(木)

第2回 平成25年8月29日(木)

第3回 平成25年11月7日(木)

第4回 平成26年1月16日(木)

第5回 平成26年3月24日(木)

(8) 国際姉妹都市部会役員会及び記念誌編集会議は下記の通り開催した。

4月22日(月) 7月3日(水)

5月1日(水) 7月16日(火)

5月8日(水) 7月26日(金)

5月15日(水) 8月6日(火)

5月22日(水) 9月4日(水)

6月5日(水) 10月11日(金)

6月12日(水) 11月26日(火)

6月24日(月)

(9) 9月8日開催・インターナショナルデイに姉妹都市部会としてブースを設置し  
タイラー市関連の写真を掲載した。

#### 4. 語学ボランティア部会事業

##### (1) 通訳や翻訳の協力依頼に対する対応

語学ボランティア部会は通訳の依頼時に通訳を派遣し、また翻訳の依頼時に翻訳作業を行っています。本年度に行った主なものは次の通りです。

- 1、アジア人家族に対する医療センターにおける通訳 平成25年5月
- 2、教育委員会主催ALT歓迎会における通訳 平成25年8月
- 3、避難所運営ルールの翻訳 平成25年11月
- 4、災害時外国人サポーター養成講座の案内書の翻訳 平成25年12月

##### (2) 第13回語学研修旅行

日 程 : 平成25年10月18日(金)、19日(土)

訪問先 : 伊豆下田、伊豆高原

講 師 : ヘイリーさん、エリカさん、ジェニファーさん、タリサさん (4名はタイラー出身)、アンジェラさん(ロサンゼルス)、アランさん(シカゴ)。

上記6名はいずれも外国語指導助手(ALT)です。

参加者 : 会員参加17名、講師6名、合計23名

内 容 : 語学ボランティア部会は語学力の向上のために毎年ALTと共に研修旅行を行っています。今年で第13回になります。八千代を出発し最初に幕末期に日本開国の舞台となった街・伊豆下田を訪問しました。ペリー提督の上陸記念碑を見学した後、日本で最初に米国領事館が開設された玉泉寺を訪問し、米国初代ハリス総領事の話に興味深く聞きました。その後、伊豆高原でALTによる英語スピーチ研修会を開催しました。翌日は城ヶ崎海岸で吊り橋と灯台を見学し、横浜中華街、海ほたる経由で八千代に戻りました。

この研修旅行には毎年ALTの参加があり語学研修の機会として貴重な機会になっています。また旅行工程はなるべく日本文化に触れるように作成していますので、ALTにとって日本文化を理解、勉強する良い機会になっています。事前に訪問先の英文資料を部会員が作成し参加者に提供しています。

##### (3) 第6回語学研修会

日 時 : 平成25年11月30日(土)

会 場 : 八千代市福祉センター

講 師 : アラン・ロレンス先生、千葉県外国語指導助手

参加者 ; 会員参加22名、一般参加23名、合計45名

演 題 : 英語学習のアドバイス

内 容 : 語学ボランティア部会は語学力の向上のために語学研修会を毎年開催

し今年で第6回の開催になります。講師に千葉県外国語指導助手のアラン・ロレンス先生を迎え「英語学習のアドバイス」と題して講演頂きました。45名の参加者は英語のリスニングに集中した後、英語で質疑応答する時間があり、研修会の目的が達成されました。参加者からは英語を勉強するうえでとても貴重な研修会でしたとの意見が多く出されました。

この研修会は従来語学ボランティア部会員を対象に行っていましたが、今回初めて一般市民の公募を広報で行ないました。その結果23名の応募があり、部会員22名とあわせ45名と過去最大の参加者になりました。一般参加の23名は予想していた人数をかなり上回りました。アラン先生は米国シカゴの出身で震災直後に来日して3年が経過しました。現在県内の3つの高校を主体に英語の授業を行っていますが、中学校や小学校でも教えることがあるそうです。



## 5. 日本語指導ボランティア部会事業

### (1) 日本語教室の開催

村上月曜会：毎月曜日 10時から 11時45分（村上公民館）
村上火曜会：毎火曜日 19時から 20時30分（　〃　）
村上土曜会：毎土曜日 10時から 11時45分（　〃　）
米本金曜会：毎金曜日 10時から 11時45分（阿蘇公民館）
東南火曜会：毎火曜日 19時から 20時30分（東南公共センター）
東南水曜会：毎水曜日 19時半から 20時45分（　〃　）
東南金曜会：毎金曜日 19時半から 20時30分（　〃　）
東南土曜会：毎土曜日 10時から 11時45分（　〃　）
高津土曜会：毎土曜日 10時から 11時30分（高津公民館）

上記9教室で在住外国人、児童生徒に日本語指導教室を開催。

### (2) 第7回日本語スピーチ大会

- 1 事業名称 第7回・八千代市日本語スピーチ大会
- 2 実施日時 平成25年11月23日（土）10時30分開会
- 3 実施場所 東南公共センター5階ホール
- 4 事業実績 8か国15名の世界の友の素晴らしいスピーチとその家族友人が集い、日本語教室のボランティア、協会員と共に総勢85名が市民間の友情を結ぶ、草の根の国際交流を深める事が出来た。

### (3) 日本語指導ボランティア研修会

1. 事業名称 日本語指導ボランティア研修会（2回）
2. 実施日時 平成25年7月6日（土）13時30分～15時  
平成26年2月22日（土）13時30分～15時
3. 実施場所 多文化交流センター 会議室
4. 参加対象 日本語指導ボランティアで活動中の方と今後ボランティアを希望する方
5. 事業実績 ”日本語指導ボランティアとは”をテーマにボランティアとしての基本と心得を研修した。

2回の研修会参加者32名の内、既に活動中の9名とともに、新たに7名のボランティアが活動した。

学習者のニーズに対応できるように新たなボランティアを今後の研修で育成していきたい。

#### (4) 「AMIGO」こども日本語教室・土曜教室

毎週土曜日の午前中、平成24年4月より村上団地内の「八千代市多文化交流センター」の1, 2階を使って開催している。

本年度の土曜教室も、村上地区の小・中学生と就学年齢児童を主対象に、保育園児童(年長)、高校生に向けた活動となった。日常生活や学校生活に必要な日本語の学習を目標に、外国籍児童の居場所作りを主眼とし、学校生活を楽しく過ごせるように宿題等の学習支援も行っている。(米本、勝田台、佐倉市志津・臼井、からも参加)

45名・10ヶ国(幼児6、小学生31、中学生6、高校生3;日本生15)にわたる児童生徒が出入りし、毎回15名前後の参加者で、今年度は45回・延べ530名超(前年より9%減)であった。

内、初年度の21年から在籍している児童が2名、22年から6名と計8名が継続した学習者となっている。

ボランティアは、4月に13名で始まり、その後、新規ボランティア募集研修により1名加わって14名で対応している。

さらに、22年から始めている東京成徳大学生による支援が、今年度は13名で、各人3回あるいは6回の継続的な支援を実施してくれ、29回 延60名が参加してくれたことは、大きな支援となった。各学生が遠路2時間近い時間をかけて土曜の朝教室に来てくれた努力は、大いに称賛されるものでした。

この結果、ボランティアの参加者数は延530名となり、学習者とはほぼ1対1で対応できた。

初年度の21年から継続して支援しているボランティアは4名であるが、23年度に活動していた11人が継続しており、毎回異なる学習者のグループ構成に苦勞しているが、各ボランティアが経験を重ねたことにより、多様に工夫を凝らしながら学習者に暖かく対応している成果として、多くの生徒の継続参加が実現している。

22年度に公立高校入学に入学した高校生2名が無事に卒業を迎え、その後の高校進学生が元気に高校生活を送っていることを知ることは、ボランティアにとって大きな喜びである。

東京成徳大学が今年度も「AMIGO」教室の生徒を対象に七夕祭りを主催したり、学園祭に招待して、クイズを用意したうえで、茶道の体験や校内の展示物他を案内してくれた。夏休みこども日本語教室にも参加してくれ、生徒達は交流を楽しんだ。

今年も「クリスマス会」を、保護者および大学生の参加も得て実施し、学習者による司会のもとで楽器演奏、ゲーム、日本舞踊学習やボランティアによるオカリナ演奏にと、賑やかに行った。交流センターの前にある包括支援センターの方から折り紙による飾りつけを提供して貰い、生徒でお礼に行くなど交流が出来た。

日本大学学生の卒業テーマの一部として、教室活動の取材もあった。

「AMIGO」こども日本語教室・村上東中学校教室

平成21年10月から切り替えた週2日の取出し授業による日本語学習支援を、今年も7月から開始し、火・木曜日に4名（内3年生1名）の生徒を対象に、支援ボランティア4名（内1名は交替）による活動を行った。

日本語指導担当教師が居ないままであるが、取出し授業の担当教師が付いて、時間の空いている教師が参加して指導に入ることも行われ、新たな進展がみられた。

参加・協力

- ・日本語学習教室支援「村上北小学校・わくわくクラス」（AMIGO子ども日本語教室他）  
毎週月曜日に外国籍生徒14名を対象に教頭・日本語指導担当教師が行う指導を支援（校長先生も参加し、小学校のホームページに活動状況掲示）
- ・村上地区外国人児童生徒受入整備連絡会主催（AMIGO子ども日本語教室他）  
平成25年12月11日（木）「村上インターナショナル・こどもサミット第5回」：  
村上東小  
「色々な国の料理を楽しもう」で外国籍児童保護者とPTA他の協力で実施
- ・村上小学校の取出し授業支援 週1～2時限（AMIGO子ども日本語教室）  
日本語指導担当教師の行う取出し授業を支援
- ・房総ボランティアネットワーク主催「進路ガイダンス・船橋会場」（AMIGO子ども日本語教室）  
会場設営・運営及び参加者の案内

(5) 夏休みこども日本語教室 in 八千代 事業

- 1 日 時 平成25年8月23日（金）午前10時00分～午後3時30分
- 2 場 所 八千代市少年自然の家（八千代市多文化交流センターで集解散）
- 3 参加者・協力者 6カ国 26名、ボランティアスタッフ 25名、その他視察など
- 4 事業の経過

6月8日	第1回打合せ会開催。タイムテーブル・授業内容を検討。
	八千代市へ共催依頼、八千代市教育委員会へ後援申請。
6月22日	第2回打合せ会開催。授業内容の検討。
	チラシを4ヶ国語で作成、配布。配布先：市内小中学校・日本語教室、市広報掲載（8月1日号）
7月6日	第3回打合せ会開催。授業内容検討
7月27日	第4回打合せ会開催。授業内容検討
8月2日	少年自然の家と打合せ
8月3日	第5回打合せ会開催。授業内容の検討
8月10日	第6回打合せ会開催。授業内容、役割分担を決定
8月21日	第7回打合せ会開催。最終打合せ、準備。
8月23日	実施

## 内容

平成19年以来 主催；八千代市国際交流協会、共催；八千代市、ちば国際コンベンションビューロー、後援；千葉県教育委員会、八千代市教育委員会で、村上公民館を主会場として実施して来た「サバイバル日本語講座 in 八千代」3日間の教室を、今年度は「夏休みこども日本語教室 in 八千代」1日で実施した。

「サバイバル日本語講座」を機に、平成20年4月に創設した[「AMIGO」こども日本語教室]が毎週土曜日開催に変化しながら安定化して、村上地区を主に、米本地区他から来る40名超の児童・生徒を対象に、毎回15－20名程度の参加者が出席するようになっている。

夏休み期間中も「AMIGO 教室」を開催していること、会場の場所による限定から村上地区の生徒による参加が主になる、さらに平成24年度の参加・児童生徒の希望は、ゲームを楽しみながらの友達作りに多くあることなどから、3日間の講座を1日に減少した。

集合・解散場所は、村上団地内に平成22年に開設し、「AMIGO 教室」の会場にしている「八千代市多文化交流センター」とし、活動場所は平成23年度から講座で使用して来た「八千代市少年自然の家」とした。「自然の家」は周囲に多くの自然と屋外運動場、屋内体育室、プラネタリウム施設を持つうえに、八千代市の小学生は「自然の家」での宿泊学習他で、生徒にはなじみの多い施設である。

参加者の募集に当たっては、今年も村上地区の3小学校による積極的な保護者に向けた説明などもあり、「AMIGO 教室」に通っている17名の他に13名の参加者（内4名は当日欠席）となった。

自己紹介ゲームによって、参加者相互の懇親を行ったうえで、6グループに分かれて、各グループのリーダーを中心にして「自然の家」周辺の農地を、案内地図に従って歩きながら、チェックポイントにある問題を回答する「ウオーク・ラリー」を行った。ボランティアを同行させ、さらに公道に近接する個所には、ボランティア活動に参加してくれた警察の方に立番をして貰うことで、安全確保を図った。

予定していた1時間半の行程であったが、地図の見方が良く分からなかったことなどもあり、道に迷うグループが多く出た。このため一番早いグループは1時間程度で帰着する一方、「自然の家」職員の巡回によって漸く帰着できるグループも出たため、2時間近く時間が掛かった。ラリー中にスイカ、トマトなどの農産物を見つけたり、蛇の抜け殻を見つけて驚いたり、蜂に遭遇したりと暑い中での屋外活動であったが、全グループがチェックポイントでの回答を全問正解して、無事終了し苦労したようであったが、ほとんどの生徒が思わぬ体験をしたことなどから、楽しかったとの感想であった。

今回も参加してくれたYLC（八千代リーダーズ・クラブ）の高校生による リクレーエーションゲームの時間が、ウオーク・ラリーの遅れにより大幅に短縮したが、前回から参加している「AMIGO」教室高校生が、自発的に指導に参加して、ボランティアと一緒に楽しくゲームした。

恒例のプラネタリウムによる星座の学習は、八千代市から見える夏の星座の勉強であり、映写中の質問に元気に回答するなど、この学習を通じて星座への興味を持つ生徒が多くなっているようである。

その他

7回目を迎えた今年は市内在住者を中心に30名の参加者（内当日欠席4名）が集まった。後援を八千代市教育委員会単独にしたが、「少年自然の家」施設利用料を無料にしたうえ、この活動における困難である交通手段について、無償で往復のバス提供をして頂くなど多大の支援を貰えてことは、この活動を評価して頂いた結果として、大変有難かった。

参加生徒は、30名中「AMIGO 教室」の生徒が17名、日本生まれが16名、日本国籍5名となり、日本語を母語としない児童・生徒（SL）が増えていること、それに対する日本語による教育の大切さなど、これからも増えると予想されている外国籍住民の定住化に対応する、教育システムの早期構築の重要性を再認識している。

国籍は7カ国とバラエティに富み、国籍の違いも関係なく新しく出来た友達と一緒に、楽しそうに遊ぶ姿が目立ち、この講座の目的の一つが充足していることを今回も確認出来た。

しかし、参加者の地域が村上地区中心に偏っていることに、大きな課題が残っており、八千代市全域にわたる外国籍などの J S L 児童・生徒が日本語での学校生活に慣れるようにするには、学校や教育委員会との連携が不可欠である。「AMIGO」こども日本語教室の活動により、ボランティアと村上地域の学校との間に信頼関係が築かれてきているが、八千代市内に居住する学齢期の児童・生徒に向けた日本語学習環境の改善に向けて、市及び教育委員会と連携した、具体的な施策の検討と実施に向けた関係強化が強く望まれる。

#### （6）「多文化共生委員会」活動報告

八千代市で平成22年3月に制定し27年3月までの施行期間とする「八千代市多文化共生プラン」では、『互いの文化を認め合い、誰もが住みやすいまちづくり』を目標とする「多文化共生社会」の形成を目指すことにしております。

このプランの施策に添って当協会が支援できる具体的な活動内容を研究・検討して施策の実施・推進に向けた提案を行政及び当協会に行い、調整・支援することを目的に平成24年6月に協会の委員会として発足しました。

構成員：委員長 鈴木正俊 委員：伊藤育雄、小島圭二、江川典一、喜田茂

『その後の経緯』

平成24年7月第1回の会議を開催し、その後毎月1回2時間の会議を重ねて市及び県、近隣市町村、国で進めている多文化共生に向けた会議への参加や情報の収集をして、協会内、市関係部署への情報提供を重ねてきました。

平成25年7月26日で12回の会議を経て、次の2点に当面の課題を絞りました。

- 1) 居住外国人に対する情報の伝達、
- 2) 外国人居住者向けの防災計画

## 8. 国際交流促進部会事業

### (1) 在住外国人交流広場（ミニパーティー）

#### 第3回

実施日：4月28日（日）

場 所：八千代市福祉センター

懇談（出身国の紹介）・ゲーム

#### 第4回

実施日：6月23日（日）

場 所：東南公共センター

日本料理教室（太巻き寿司 体験）

#### 第5回

実施日：12月7日（土）

場 所：八千代市福祉センター

懇談（出身国紹介・自己PR）

在住外国人を囲んでの交流広場（ミニパーティー）は昨年度からスタートした事業で、今年度は2年目を向かえ、3回の開催で中国・フランス・ホンジュラス・フィリッピン・他国出身者ら延べ42人の参加者を得て交流を深めた。

### (2) ハロウィン・パーティー（講演会代替）

実施日：10月26日（土）

会 場：八千代市福祉センター

対象者：市内小学生以下 保護者同伴 50組

幼児・児童に異文化に接する機会を提供することを目的に八千代市後援のもと、市内の小中学校で英語教育に従事している語学補助教員（ALT）の協力得て実施しました。子供たちには、ALTの先生と英語圏のイベントをとおして英語を身につけるキッカケ・海外に関心を持つことにつながる体験となることを望むものです。

パーティーは、思い、思いのハロウィンの衣装の親子が定刻の3時に勢ぞろい、秋葉市長のご挨拶でキック・オフ。ALTの先生は、ハロウィン仮装で登場、仮装キャラクターに合わせた鳴きまねなど交えた自己紹介で会場の雰囲気盛り上げてくれました。参加者は、年齢別に3グループに分かれ、ゲーム・ぬり絵・ダンス、そしてピニャータ割り、キャンディー拾いと大はしゃぎの2時間を過ごしました。

(3) 国際交流関連団体との交流

実施日：6月30日(日)

会場：八千代市農協本店 ・ 緑が丘公民館

交流団体：在日ザンビア大使館 八千代市農協 やちよ村お料理サロン

昨年のザンビア大使夫人との交流を機会に、本年度はザンビア大使館の一等書記官ご夫妻が来市。今回は、八千代市農協の農業祭に合わせての視察と祭りへの参加そして、ザンビアの主食であるメイズ(トウモロコシ粉)創作調理研究の成果発表の懇談会の出席が目的です。農業祭では、農協女性部の試作品試食を行い、農業祭を堪能後、藤代組合長及び理事と懇談。その後、会場を緑が丘公民館に移り、やちよ村お料理サロンのメイズを使った創作料理の試食、懇談をした。懇談会の出席者は34名。

(4) ホームページの掲載・充実

実施日：随時

イ、協会の概要掲載

ロ、各部会の事業予定・報告を掲載

ハ、他市国際交流協会等からの有益な情報を掲載

## 9. 会議の開催について

### ○平成24年度八千代市国際交流協会総会

日 時：平成25年4月14日（日）午後9時～12時

場 所：八千代市福祉センター第3、第4会議室

参加者： 名 委任状 名

### ○八千代市国際交流協会理事会

#### (1) 第1回理事会

日 時：平成25年6月13日（木）午後6時より

場 所：福祉センター 第3、第4会議室

参加者：13名

#### (2) 第2回理事会

日 時：平成25年8月29日（木）午後6時より

場 所：福祉センター 教養室

参加者：12名

#### (3) 第3回理事会

日 時：平成25年11月7日（木）午後6時より

場 所：福祉センター 第3、第4会議室

参加者：12名

#### (5) 第4回理事会

日 時：平成25年1月16日（木） 午後6時より

場 所：福祉センター第1会議室

参加者： 8名

#### (6) 第5回理事会

日 時：平成26年3月24日（木） 午後6時より

場 所：福祉センター第5会議室

参加者：13名



議案第2号 平成25年度八千代市国際交流協会の収支決算を次のとおり提出する。

平成26年3月31日

八千代市国際交流協会  
会長 周 郷 紀 男

平成25年度八千代市国際交流協会の決算について、下記のとおり監事の意見をつけて報告する。

【収入】

単位：円

科 目	25年度当初	決 算	年度当初内訳	決算時内訳
1.会費収入	645,000	458,000	個人会員 205人 家族会員 15家族 団体会員 19団体	個人会員 135人 学生会員1人を含む 家族会員 9家族 団体会員 16団体 *会費収入不足分 187,000 予算比 71%
2.補助金	1,600,000	1,600,000		
3.繰越金	187,340	187,340		
4.雑収入	660	31,580		31,500 は 20周年記念誌増刷の寄付金 預金利息 80
合 計	2,433,000	2,276,920		*収入不足分 △156,080 予算比 93.6%

収 入 2, 2 7 6, 9 2 0円  
支 出 2, 0 3 1, 6 1 0円  
次期繰越額 2 4 5, 3 1 0円

【 支 出 】

単位:円

科	目	25年度当初	予算現額	残高	摘要	
1. 事業費		<b>990,000</b>	<b>858,668</b>	<b>131,332</b>		
	1. インターナショナルデー		300,000	271,615	28,385	イベント運営費
		1. 謝金	140,000	140,000	0	出演者・協力者謝金
		2. 需用費	155,000	129,410	25,590	本部費・ブース制作費・記録写真
		3. 役務費	5,000	2,205	2,795	郵送料
	2. タイラー市訪問団受入事業費		<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	25年度は、受入事業は無し
		1. 需用費	0	0	0	タイラー訪問団受入無し
	2. 役務費		0	0	0	タイラー訪問団受入無し
	3. 広報事業費		<b>180,000</b>	<b>152,590</b>	<b>27,410</b>	
		1. cliP 印刷費, 送料	130,000	102,590	27,410	cliP 印刷費、送料
		2. HP 制作委託料	50,000	50,000	0	HP 制作委託料
	4. 部会事業費		<b>510,000</b>	<b>434,463</b>	<b>75,537</b>	
		1. 国際姉妹都市部会	100,000	59,229	40,771	ALT 英語研修・タイラー受け入れ準備と連絡会費など
		2. 語学ボランティア部会	80,000	75,826	4,174	語学研修費・連絡会費など
		3. 日本語指導ボランティア部会	250,000	248,609	1,391	日本語講座・サバイバル日本語講座・AMIGO・スピーチ大会
4. 国際交流促進部会		80,000	52,991	29,201	研修会・講演会・交流会費	
2. 事務費	1. 事務費	<b>1,290,000</b>	<b>1,141,442</b>	<b>148,558</b>		
	1. 需用費	200,000	106,272	93,728	事務用品・会議用茶代	
	2. 役務費	200,000	203,419	△3,419	会議通知・資料送付・研修案内送付・電話代 △3,419 は予備費より充当	
	3. 備品購入費	50,000	32,760	17,240	協会携帯電話	
	4. 人件費	770,000	778,851	△8,851	事務職員給与 4~2月・労災費 △8,851 は予備費より充当	
	5. 研修費	30,000	0	30,000	研修参加費補助	
	6. 負担金	10,000	10,000	0	県国際交流センター会費	
	7. 交際費	30,000	10,140	19,860	国際交流協会 会議参加費	
3. 予備費		<b>153,000</b>	<b>0</b> <b>※31,500</b>	<b>153,000</b> <b>△31,500</b>	※31,500 は寄付金で、記念誌増刷分	
合 計		<b>2,433,000</b>	<b>2,031,610</b>	<b>401,390</b>	予算比 83.5%	

平成 25 年度収支決算については、伝票・預金通帳等関係書類を監査したところ、適正であったことを報告します。

平成 26 年 4 月 日

監 事 江 川 典 一

監 事 河 合 晴 子

議案第3号 平成26年度八千代市国際交流協会事業計画（案）について

1. インターナショナルデー事業

多文化共生を推進するため「インターナショナルデー」を例年開催していたが、今年度は内容をより充実させるために、見直しをするので企画は未定。外国人のネットワーク作りを促進するような内容としたい。

2. 八千代市国際交流協会ニュース“c l i P（クリッピー）”発行事業

会員へのお知らせと、会の活動について広報を行う。

- (1) 発行回数：1回（平成26年12月を予定）
- (2) 発行部数：2,000部
- (3) 規 格：A4版
- (4) 配 布 先：会員／市内小中学校／高校／大学／近隣市の国際交流機関など
- (5) 配布方法：郵送 持参

3. 国際姉妹都市部会事業

- (1) 第8回国際姉妹都市タイラー市訪問団の受入準備（予定）
  - 7月11日（金） 八千代市到着  
市長表敬訪問  
市主催昼食会
  - 7月12日（土） 佐原の夏祭り見物
  - 7月13日（日） ホームビジット
  - 7月14日（月） 成徳大学及び八千代高校を訪問し交流
  - 7月15日（火） 午前 成田空港より帰国
- (2) ALT との交流
- (3) 他市の国際交流協会姉妹都市部会との交流を推進
- (4) 市内高校生のタイラー市派遣継続を推進
- (5) 千葉県国際交流協会連合協議会、八千代市開催の検討

#### 4. 語学ボランティア部会事業

(1) 通訳、翻訳の依頼に対する協力

通訳の派遣要請、翻訳の依頼に対し随時協力をする。

(2) 語学研修旅行の実施

教育委員会所属の外国語指導助手（ALT）を交え、語学研修旅行を例年通り10月頃に実施予定。

(3) 語学研修会の実施

講師をお招きして語学研修会を例年通り11月頃に実施予定。昨年に引き続き一般の参加者を募集する予定です。

#### 5. 日本語指導ボランティア部会事業

(1) 日本語教室の開催

村上月曜会：毎月曜日10時から11時45分（村上公民館）
村上火曜会：毎火曜日19時から20時30分（ 〃 ）
村上土曜会：毎土曜日10時から11時45分（ 〃 ）
米本金曜会：毎金曜日10時から11時45分（阿蘇公民館）
東南火曜会：毎火曜日19時から20時30分（東南公共センター）
東南水曜会：毎水曜日19時半から20時45分（ 〃 ）
東南金曜会：毎金曜日19時から20時30分（ 〃 ）
東南土曜会：毎土曜日10時から11時45分（ 〃 ）
高津土曜会：毎土曜日10時から11時30分（高津公民館）

上記9教室で在住外国人、児童生徒に日本語指導教室を開催。

(2) 「AMIGO」こども日本語教室

毎週土曜日午前中

村上地区の児童生徒を主対象に、日常生活や学校生活に必要な日本語の習得とより早い適応を目指して、楽しく日本語を学ぶ場を提供する。

## 参加・協力

- 村上東中学校日本語指導支援 (AMIGOこども日本語教室)
- 日本語学習教室支援「村上北小学校・わくわくクラス」(AMIGOこども日本語教室他)
- 日本語学習教室支援「村上小学校取出しクラス」 (AMIGOこども日本語教室)
- 村上地区外国人児童生徒受入整備連絡会 ( )
- 房総ボランティアネットワーク「進路ガイダンス」 (AMIGOこども日本語教室)

## 「夏休みこども日本語教室」

八千代市在住の小中学生を対象に、8月下旬に1日間の「夏休みこども日本語教室」を開催する。

## (3) 第7回・日本語スピーチ大会

- 1. 日時 平成26年11月1日(土)
- 2. 会場 東南公共センター5階ホール
- 3. 内容 日本語10教室の学習者及び市内在住在勤外国人が日頃の学習成果をスピーチに託し発表すると共に懇親会を設け草の根の国際交流を推進する。

## (4) 日本語教室定例協議会の開催：年間4回予定

## (5) 日本語指導ボランティア研修会(2回)

- 1. 日 時 平成26年7月5日(土) 13時30分～15時  
平成27年2月 予定

## 6. 国際交流促進部会事業

- (1) 在住外国人交流広場を開催
- (2) 講演会(フォーラム)の開催
- (3) 国際交流関連団体(ザンビアなど)との交流
- (4) 協会ホームページの充実
- (5) 英語圏のイベントを通して子ども英語教室
- (6) その他

議案第4号 平成26年度収支予算(案)について

平成26年度八千代市国際交流協会の収支予算を次のとおり提出する。

平成26年3月31日

八千代市国際交流協会  
会長 周郷紀男

【収入】

単位：円

科 目	25年度	26年度	比較	摘 要
1.会費収入	645,000	582,000	△63,000	個人会員 181人 家族会員 10家族 団体会員 19団体
2. 補助金	1,600,000	1,600,000	0	
3. 繰越金	187,340	245,310	57,970	
4. 雑収入	660	690	30	利息他 690
合 計	2,433,000	2,428,000	△5,000	

## 【支出】

単位：円

科	目	25年度	26年度	比較	摘要
一事業費		990,000	1,080,000	90,000	
	1.インターナショナルデイ	300,000	100,000	△200,000	イベント運営費
	1.謝金	150,000	40,000		
	2.需用費	120,000	30,000		
	3.役務費	30,000	30,000		
	2.タイラー市訪問団受入事業	0	300,000	300,000	26年度、受入事業
	1.需用費	0	150,000	150,000	
	2.役務費	0	150,000	150,000	
	3.広報事業費	180,000	170,000	△10,000	
	1.cliP印刷費	130,000	120,000	△10,000	cliP印刷費、送料
	2.HP制作委託料	50,000	50,000	0	HP制作委託料
	4.部会事業費	510,000	510,000	0	
	1.国際姉妹都市	100,000	100,000	0	タイラー市受入実行費
	2.語学ボランティア部会	80,000	80,000	0	語学研修費・連絡会費
3.日本語指導ボランティア部会	250,000	250,000	0	日本語講座・AMIGO・スピーチ大会	
4.国際交流促進部会	80,000	80,000	0	講習会・研修・交流会費、	
二事務費	1.事務費	1,290,000	1,235,000	△55,000	
	1.需用費	200,000	175,000	△25,000	事務用品・会議用茶菓代
	2.役務費	200,000	200,000	0	会議通知・資料送付・研修案内送付 電話代・cliP送料
	3.備品費	50,000	30,000	△20,000	
	4.人件費	770,000	780,000	10,000	事務職員給与・労災
	5.研修費	30,000	10,000	△20,000	研修参加費補助
	6.負担金	10,000	10,000	0	県国際交流センター会費
	7.交際費	30,000	30,000	0	
3.予備費	153,000	113,000	△40,000		
合計	2,433,000	2,428,000	△5,000		